

ルール集

(講習・指導・事務手続き・各種帳票)

平成25年 7月発行

トヨタ自動車九州安全衛生協力会

目 次

第一章 講習に関するルール

1. 労働安全衛生法以外のトヨタ九州構内で必要とする資格	1-1
2. 協力会講座一覧	1-2
3. 専門講師養成講座	
(1) 専門講師の役割	1-3
(2) 工事責任者専門講師養成講座	1-3
(3) 作業責任者専門講師養成講座	1-4
(4) 作業責任者専門講師「更新」教育講座	1-5
(5) 高所作業者専門講師養成講座	1-6
(6) 感電防止教育専門講師養成講座	1-7
4. 作業資格取得講座及び特別教育	
(1) 工事責任者教育	1-8
(2) 作業責任者教育	1-9
(3) 作業責任者「更新」教育	1-10
(4) 高所作業者特別教育	1-11
(5) 感電防止特別教育	1-12
(6) 有機溶剤作業特別教育	1-13
(7) 振動工具取扱作業者特別教育	1-14
(8) 粉じん作業者特別教育	1-15

第二章 指導に関するルール

1. 専任安全衛生指導員制度	
(1) 目的	2-1
(2) 運営体系	2-1
(3) 選任・登録	2-1
(4) 選任基準	2-1
(5) 責務	2-1
2. 電動工具点検制度	
(1) 点検実施	2-2~4

第三章 事務手続

1. 提出書類について	
(1) 入・退会手続き	3-1
(2) 報告事項	3-1

2. 申請書類関係について	
(1) 安全教育関係	3-2
(2) その他	3-3
3. 災害・違反発生時の対応書類について	
(1) 災害時の対応書類	3-3
(2) パトロール違反時の対応書類	3-3
4. 協力会各帳票及び教材等について	
(1) 帳票及び参考資料一覧	3-4
(2) テキスト類一覧表	3-5
(3) 斡旋物一覧表	3-6
5. 各帳票及び参考例	
(1) 入会申込書	帳1
(2) 退会届	帳2
(3) 会員名簿報告書・記載事項変更届	帳3
(4) トヨタ自動車九州構内労働時間調査表	帳4-1～3
(5) 工事責任者証交付申請書	帳5
(6)〔新規〕作業責任者証交付申請書	帳6
(7)〔更新〕作業責任者証交付申請書	帳7
(8) 特別教育選考結果報告書	帳8
(9) 取得済資格申請書	帳9
(10) 修了証再交付申請書	帳10
(11) ビデオ・DVD等借用申込書	帳11
(12) 改善通知書	帳12
(13) 再発防止対策書	帳13
(13) 工事管理板内工事看板	参考1-1
(14) 施工体制表(請負関係図)	参考1-2～4
(15) 作業指示書・KYM実施記録	参考2
(16) 作業者名簿・資格一覧表	参考3
(17) リスクアセスメント記録表・前提条件表	参考4-1～2

第一章 講習に関するルール

1. 労働安全衛生法以外のトヨタ九州構内で必要とする資格等

選任・配置すべき者	適用範囲 (業務内容)	資格 (要件)	講師
工事責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・工事全般を管理する ・原則として元請・元方会社より選任する ・職務に支障がない限り、複数の工事を担当することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事責任者教育修了者 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事責任者専門講師養成講座修了者
作業責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・単位作業毎に選任する ・部下を直接指揮監督できる範囲で選任する 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業責任者教育修了者 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業責任者専門講師養成講座修了者
高所作業者	<ul style="list-style-type: none"> ・高さ、深さが2m以上の箇所での作業 (2m未満の場所であっても、外部及び開口部に面して墜落・転落の恐れのある作業を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高所における作業特別教育修了者 	<ul style="list-style-type: none"> ・高所作業者専門講師養成講座修了者
構内作業者	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ九州構内で作業する者全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・感電防止特別教育修了者 ・「電気工事士」「低圧電気取扱者特別教育修了者」を有する者は受講を免除 	<ul style="list-style-type: none"> ・感電防止教育専門講師養成講座修了者 ・低圧電気取扱者専門講師養成講座修了者
有機溶剤作業者	<ul style="list-style-type: none"> ・有機溶剤を取扱う作業で塗装、洗浄、接着作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・有機溶剤作業特別教育修了者 ・「有機溶剤作業主任者技能講習修了証」を有する者は受講を免除 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主が有機溶剤作業主任者等講師に相応と認められた者
振動工具作業者	<ul style="list-style-type: none"> ・振動工具取扱い作業者 ・エアハンマ-取扱い作業 (30分/日以上) ・固定グラインダ-取扱い作業 (砥石径150mm以上) ・手持式グラインダ-取扱い作業 (砥石径150mm以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・振動工具取扱作業特別教育修了者 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主が振動工具作業特別教育修了者等講師に相応と認められた者 ・振動工具専門講師養成講座修了者
粉じん作業者	<ul style="list-style-type: none"> ・特定粉じん、粉じん作業従事者 ・グラインダ-等で発生する粉じん コンクリート粉じん等 ・手持式グラインダ-取扱い作業 (砥石径150mm以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・粉じん作業特別教育修了者 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主が粉じん作業特別教育修了者等講師に相応と認められた者 ・粉じん作業専門養成講座修了者

2. 協力会講座一覧

(1) 専門講師養成講座 (5種類)

資 格 名	記載ページ
1) 工事責任者専門講師養成講座	1-3
2) 作業責任者専門講師養成講座	1-4
3) 作業責任者専門講師「更新」教育講座	1-5
4) 高所作業者専門講師養成講座	1-6
5) 感電防止教育専門講師養成講座	1-7

(2) 作業者資格取得講座 特別教育 (8種類)

特別教育は事業主が行うのが原則ですが、トヨタ自動車九州安全衛生協力会
(以下「協力会」とする)でも実施する。

資 格 名	事業主	協力会	記載ページ
1) 工事責任者教育			1-8
2) 作業責任者教育			1-9
3) 作業責任者「更新」教育			1-10
4) 高所作業者特別教育			1-11
5) 感電防止特別教育			1-12
6) 有機溶剤作業特別教育			1-13
7) 振動工具取扱作業者特別教育			1-14
8) 粉じん作業者特別教育			1-15

注1 協力会で実施する上記講座の教育・講習は、その都度、講習会の
約1ヶ月半前に郵送又はホームページへ掲載しますので、お申込みください。

注2 自社で実施する場合は、1～5)の講師は協力会認定の専門講師
が実施する。

3. 専門講師養成講座

(1) 専門講師の役割

- 1) 専門講師(協力会の講習修了者)は、自社内は勿論、会員会社内でその講座の講師として教育を行うことができます。
- 2) トヨタ九州構内に於ける事故・災害防止に向け、協力会が定めるカリキュラムに添って教育を実施する。

〔事前に申請を行い、専門講師が先生となり講習を行った後、講習修了を事業主が確認して、協力会に申請すると受講者はその講座の有資格者となります。〕

(2) 工事責任者専門講師養成講座

講座内容	会員各社で行う工事責任者教育の講師養成講座	
受講資格	会員各社で工事責任者教育を自ら行う能力があると事業主が認めた者で元請会社もしくは商社の元方会社に所属し、 下記の条件にすべて該当する者 1) 工事責任者教育修了者で工事責任者の実務経験1年以上の者 2) 作業責任者専門講師養成講座修了者で、 専門講師の実務経験1年以上の者(受講資格の実務経験は事業主が認定する)	
講座時間	1) 専門講師の役割と責務	0.5 H
	2) 工事責任者教育の進め方と手続き	0.5 H
	3) 工事責任者教育の内容と進め方のポイント	1.25 H
	4) リスクアセスメントの進め方、実技	3.0 H
	5) 工事計画書作成の方法、実技	1.0 H
	6) 作業指示書の評価、実技	1.0 H
	7) KYMの指導方法	0.25 H
	8) テスト(80点以上合格)	0.25 H
	9) まとめ	0.25 H
		計
教 材	1) 工事責任者テキスト 2) 仕入先トヨタ九州構内作業要領 3) 安全衛生指導マニュアル 4) 【工事・作業のRA】 リスクアセスメントの進め方 5) 労災かくし防止マニュアル	
認 定	修了証を協力会から発行する	

(3) 作業責任者専門講師養成講座

講座内容	会員各社で行う作業責任者教育の講師養成講座	
受講資格	<p>会員各社で作業責任者教育を自ら行う能力があると事業主が認めた者で、RST(労働省(現厚生労働省)方式現場監督安全衛生教育トレーナー：建設コース又は一般コース+補講)修了者または、新CFT(建災防)修了者の中から下記の条件に該当する者</p> <p>1) 作業責任者教育修了者で、実務経験1年以上の者 (受講資格の実務経験は事業主が認定する)</p>	
講座時間	1) 作業責任者専門講師の役割と責務	1.5 H
	2) 作業責任者教育の進め方及び手続き等	1.5 H
	3) リスクアセスメントの進め方	1.5 H
	4) 作業責任者教育内容と教え方のポイント	3.75 H
	5) 作業指示書作成のポイント	1.0 H
	6) 作業指示書の作成と実技演習	1.0 H
	7) 作業責任者教育指導要綱のポイント	1.0 H
	8) KY基礎4R法の教え方(指導案+実技)	3.0 H
	9) 決意表明	1.0 H
	10) テスト(80点以上合格)	0.25 H
	11) まとめ	0.5 H
	計	16.0 H
教 材	<p>1) 全豊田外来工事 作業責任者テキスト</p> <p>2) 仕入先トヨタ九州構内作業要領</p> <p>3) 安全衛生指導マニュアル</p> <p>4) 全豊田外来工事 作業責任者更新テキスト</p> <p>5) 【工事・作業のRA】リスクアセスメントの進め方</p> <p>6) 点検チェックリスト</p> <p>7) ロックアウト教育テキスト</p> <p>8) 労災かくし防止マニュアル</p>	
認 定	修了証を協力会から発行する	
有効期限	<p>5 年</p> <p>(5年以内に作業責任者専門講師「更新教育」を受講し、再登録する)</p>	

(4)作業責任者専門講師「更新教育」講座

講座内容	作業責任者専門講師の更新教育	
受講資格	作業責任者専門講師の有資格者で修了証発行日より5年以内の者	
講座時間	1) 労働災害の傾向とトヨタ災害発生状況	0.75 H
	2) トヨタ九州構内ルールの変更点	0.75 H
	3) リスクアセスメントの進め方	1.0 H
	4) 講師演練	1.75 H
	5) 作業責任者指導要綱の解説	1.25 H
	6) リスクアセスメント演練	0.75 H
	7) 作業指示書作成の演練	0.75 H
	8) KYT基礎4R法の復習	1.0 H
	9) まとめ	0.5 H
		計
教 材	1) 全豊田外来工事 作業責任者テキスト 2) 仕入先トヨタ九州構内作業要領 3) 安全衛生指導マニュアル 4) 全豊田外来工事 作業責任者更新テキスト 5) 【工事・作業のRA】リスクアセスメントの進め方 6) ロックアウト教育テキスト 7) 労災かくし防止マニュアル	
認 定	更新済み修了証を協力会から新たに発行する	
備 考	5年以内毎に「更新教育」を受講しないと講師としての資格は失効する	

(5)高所作業者専門講師養成講座

講座内容	高さ、深さが2m以上の高所で作業する者を教育する講師の養成講座 (2m未満の場所であっても、外部及び開口部に面して墜落・転落の恐れのある作業を含む)	
受講資格	会員各社で高所作業者教育を行う能力があると事業主が認めた者で、 下記の条件に該当する者 1) 作業責任者教育修了者で作業責任者の実務経験1年以上 受講資格の実務経験は事業主が認定する	
講座時間	1) 期待される講師像・教育技法	2.0 H
	2) 高所作業の危険管理	1.0 H
	3) 高所作業心得と災害防止方法	
	4) 安全施設と保護具	2.0 H
	5) 災害事例・関係法令	2.0 H
	6) テスト(80点以上合格)	0.5 H
	計	7.5 H
教 材	1) 高所における作業テキスト 2) 仕入先トヨタ九州構内作業要領 3) 安全衛生指導マニュアル	
認 定	修了証を協力会から発行する	

(6) 感電防止教育専門講師養成講座

講座内容	トヨタ九州構内で作業する者を教育する講師の養成講座	
受講資格	<p>会員各社で感電防止教育を行う能力があると事業主が認めた者で、 下記の条件に該当する者</p> <p>1) 作業責任者教育修了者で作業責任者の実務経験1年以上 受講資格の実務経験は事業主が認定する</p>	
講座時間	1) 感電防止教育の位置づけ	0.25 H
	2) 教育技法	0.5 H
	3) 電気の基礎知識	0.75 H
	4) 安全な電気の使い方	1.5 H
	5) 電動工具等の点検	1.5 H
	6) 感電防止マニュアル	0.5 H
	7) 災害事例と関係法令	0.5 H
	8) 指導要綱の説明	1.0 H
	9) テスト(80点以上合格)	0.5 H
	計	7.0 H
教 材	<p>1) 感電防止テキスト</p> <p>2) 仕入先トヨタ九州構内作業要領</p> <p>3) 安全衛生指導マニュアル</p> <p>4) ロックアウト教育テキスト</p>	
認 定	修了証を協力会から発行する	

4. 作業資格取得講座及び特別教育

(1) 工事責任者教育

教育機関	事業主が行う教育	
講師	工事責任者専門講師養成講座修了者	
受講資格	トヨタ九州構内で工事責任者として工事管理を行う者 作業責任者教育修了者で 1年以上の実務経験がある者 で 事業主が認め めた者 元請、元方会社に所属する者	
教育時間	1) 工事責任者に期待すること	0.34 H
	2) 工事責任者の役割	0.5 H
	3) 工事着工前の準備	0.5 H
	4) 作業当日の実施事項	0.5 H
	5) 工事完了後の実施事項	0.25 H
	6) 安全協議会活動	0.42 H
	7) 工事責任者のリスクアセスメント	0.5 H
	8) リスクアセスメントの進め方・やり方・特徴・実技演練	2.0 H
	9) テスト(70点以上合格)	0.33 H
	10) 工事計画書について実技演練	1.0 H
	11) 作業指示書の評価	1.0 H
	12) KYMの指導方法	0.33 H
	13) まとめ	0.33 H
	計	8.0 H
教材	1) 工事責任者テキスト 2) 【工事・作業のRA】 リスクアセスメントの進め方	
登録認定	1) 事業主が受講修了を確認の上、協力会に申請し、 協力会が修了証を発行する (帳 - 5 参照) 2) 協力会の教育を修了した場合は、協力会が修了証を発行する	
備考	・作業責任者の資格が失効した者は、工事責任者の資格も失効する トヨタ九州以外の全豊田各社で工事責任者証の交付を受けた工事責任者が、トヨタ九州構内で作業する場合は「仕入先トヨタ九州構内作業要領」を熟知の上、作業に入らなければならない	

(2)作業責任者教育

教育機関	事業主が行う教育		
講 師	作業責任者専門講師養成講座修了者		
講座内容	作業責任者(職長・安全衛生責任者教育 + 作業責任者教育)		
受講資格	<p>1) 学校教育法による大学及び高等専門学校卒業で実務経験3年以上</p> <p>2) 事業主が認める23歳以上の者で実務経験5年以上 上記1), 2) 何れかに該当し、人格円満でその作業に精通し作業の指揮が確実に行えると事業主が認めた者で、高所作業者特別教育・感電防止特別教育修了者</p>		
教育時間	項 目	方法	時間
	1) 作業責任者の役割と監督能力	講義	2.5 H
	2) リスクアセスメントの考え方	講義	1.0 H
	3) 作業手順と作業指示 作業指示実技	講義	3.5 H
		演練	
	4) 異常時・災害発生時の措置	講義	1.0 H
	5) 作業環境の改善	講義	1.67 H
	6) 安全衛生指導マニュアル	講義	1.16 H
	7) 安全衛生活動の活性化	講義	0.33 H
	8) テスト(70点以上合格)	講義	0.5 H
	9) KYM実技	演練	3.17 H
	10) 仕入先トヨタ九州構内作業要領	講義	0.67 H
	11) パトロール時における問題	講義	0.25 H
	12) まとめ	講義	0.25 H
	計		16.0 H
教 材	<p>1) 全豊田外来工事 作業責任者テキスト</p> <p>2) 仕入先トヨタ九州構内作業要領</p> <p>3) 安全衛生指導マニュアル</p> <p>4) 【工事・作業のRA】リスクアセスメントの進め方</p> <p>5) 点検チェックリスト</p>		
登録認定	<p>1) 事業主が受講修了を確認の上、協力会に申請し、協力会が修了証を発行する(帳-6参照)</p> <p>2) 協力会の教育を修了した場合は、協力会が修了証を発行する</p>		
有効期限	<p>5年</p> <p>(5年以内に作業責任者「更新教育」を受け、再登録する)</p>		
備 考	<p>トヨタ九州以外の全豊田各社で作業責任者証の交付を受けた作業責任者が、トヨタ九州構内で作業する場合は「仕入先トヨタ九州構内作業要領」を熟知の上、作業に入らなければならない</p>		

(3)作業責任者「更新教育」

教育機関	事業主が行う教育	
講師	作業責任者専門講師養成講座修了者	
受講資格	作業責任者証保有者で発行日より5年以内の者で今後も作業責任者・工事責任者として従事する者 (有効期限を5年とし1年前より受講する事ができる)	
教育時間	1) 作業責任者(職長)の役割と監督能力	1.17 H
	2) 法令、トヨタ九州構内作業要領等の変更事項の確認	1.0 H
	3) リスクアセスメントの考え方	0.84 H
	4) 作業環境の改善	0.5 H
	5) 作業手順と作業指示 作業指示実技(個人演練)	1.0 H
	6) 安全衛生活動の活性化 KYT実技(グループ演練)	1.67 H
	7) 異常時・災害発生時の措置	0.5 H
	8) テスト(70点以上合格)	0.34 H
	9) 災害事例紹介	0.16 H
	10) パトロール時における問題	0.16 H
	11) まとめ	0.16 H
		計
教材	1) 全豊田外来工事 作業責任者更新テキスト 2) 仕入先トヨタ九州構内作業要領 3) 安全衛生指導マニュアル 4) 労災かくし防止マニュアル 5) 【工事・作業のRA】 リスクアセスメントの進め方 6) 点検チェックリスト	
登録認定	1) 事業主が受講修了を確認の上、協力会に申請し、 協力会が修了証を発行する (帳 - 7 参照) 2) 協力会の教育を修了した場合は、協力会が修了証を発行する	
備考	5年以内毎に「更新教育」を受講しないと作業責任者としての資格は失効する	

(4)高所作業者特別教育

教育機関	事業主が行う教育	
講師	高所作業者専門講師養成講座修了者	
教育対象者	高さ、深さが2m以上の高所で作業する者で満18歳以上～満55歳未満の者 但し、満55歳以上～満69歳未満は事業主が認めた者	
教育時間	1) 高所作業の危険性と その管理	0.84 H
	2) 高所作業の心得	0.25 H
	3) 災害防止の方法	1.0 H
	4) 安全施設	1.08 H
	5) 保護具	0.25 H
	6) 関係法令	0.25 H
	7) テスト(70点以上合格)	0.5 H
	8) 災害事例	0.33 H
	計	4.5 H
教材	高所における作業テキスト	
登録認定	1) 事業主が受講修了を確認の上、協力会に申請し、 協力会が修了証を発行する (帳 - 8 参照) 2) 協力会の教育を修了した場合は 、協力会が修了証を発行する	
備考	満70歳到達で資格は失効する。但し、健康上問題無し、他の資格(作業責任者等)との関係で延長の特別申請があった場合は、1年単位で延長する。	

(5)感電防止特別教育

教育機関	事業主が行う教育	
講師	感電防止教育専門講師養成講座修了者	
教育対象者	トヨタ九州構内で作業する者全員	
教育時間	1) 電気に関する基礎知識	1.0 H
	2) 安全な電気の使い方	0.84 H
	3) 感電防止マニュアル	1.5 H
	4) テスト(70点以上合格)	0.5 H
	5) 災害事例、関係法令	0.16 H
	計	3.0 H
教材	感電防止テキスト	
登録認定	1) 事業主が受講修了を確認の上、協力会に申請し、 協力会が修了証を発行する (帳 - 8 参照) 2) 協力会の教育を修了した場合は、協力会が修了証を発行する	
備考	電気関係の特別教育(高圧電気・低圧電気)及び免許(電気工事士) 取得者は感電防止特別教育受講修了者とみなす	

(6)有機溶剤作業特別教育

教育機関	事業主が行う教育	
講師	1) 衛生管理者 2) 有機溶剤作業主任者で、3年以上の経験を有する者、かつ、 事業主が認めた者	
教育対象者	有機溶剤を取扱う作業(塗装、洗浄、接着作業等)に従事する者	
教育時間	1) 有機溶剤に関する知識	1.0 H
	2) 有機溶剤の管理方法	1.5 H
	3) 保護具に関する知識	1.0 H
	4) 関係法令及び災害事例	1.0 H
	5) テスト(70点以上合格)	0.5 H
	計	5.0 H
教材	有機溶剤作業テキスト	
登録認定	1) 協会の教育を修了した場合は、協会が修了証を発行する (帳 - 8 参照) 2) 事業主認定者が行った教育は事業主が受講修了を確認の上、 事業主が修了証を発行する	

(7)振動工具取扱作業者特別教育

教育機関	事業主が行う教育	
講師	1) 振動工具専門講師養成講座修了者 2) 振動工具取扱作業者教育トレーナー 3) 衛生管理者の資格を保有した者で、事業主が認めた者 4) 振動工具取扱従事者で5年以上の経験者でかつ事業主が認めた者	
教育対象者	振動工具取扱い作業者でエアハンマー・固定グラインダー・手持式グラインダー等を取扱う者	
教育時間	1) 安全衛生教育	0.35 H
	2) 振動障害の概要	0.42 H
	3) 振動工具の選定と点検整備の仕方	0.42 H
	4) 振動障害を予防するには	0.67 H
	5) 正しい作業の進め方	0.67 H
	6) 健康に関する知識	0.67 H
	7) 関係法令	0.5 H
	8) テスト(70点以上合格)	0.5 H
	9) まとめ	0.25 H
		計
教材	振動工具取扱い作業者テキスト	
登録認定	1) 振動工具専門講師が行った教育は事業主が受講修了を確認の上、協力会に申請し、協力会が修了証を発行する (帳 - 8 参照) 2) 協力会の教育を修了した場合は、協力会が修了証を発行する 3) 事業主認定者が行った教育は事業主が受講修了を確認の上、事業主が修了証を発行する	

(8) 粉じん作業者特別教育

教育機関	事業主が行う教育	
講師	1) 粉じん作業専門講師養成講座修了者 2) 衛生管理者の資格を保有した者で、事業主が認めた者 3) 粉じん作業従事者で5年以上の経験者でかつ、事業主が認めた者 4) 粉じん作業教育トレーナー	
教育対象者	粉じん作業に従事する者(1日の粉じん作業が1時間以上従事する者)	
教育時間	1) 粉じんによる疾病と健康管理	0.75 H
	2) 粉じんによる疾病の防止	1.0 H
	3) 粉じん作業の管理	0.75 H
	4) 保護具	0.91 H
	5) 関係法令	0.84 H
	6) テスト(70点以上合格)	0.5 H
	7) まとめ	0.25
		計
教材	粉じん作業者テキスト	
登録認定	1) 粉じん作業専門講師が行った教育は事業主が受講修了を確認の上、協力会に申請し、協力会が修了証を発行する(帳-8参照) 2) 協力会の教育を修了した場合は、協力会が修了証を発行する 3) 事業主認定者が行った教育は事業主が受講修了を確認の上、事業主が修了証を発行する	

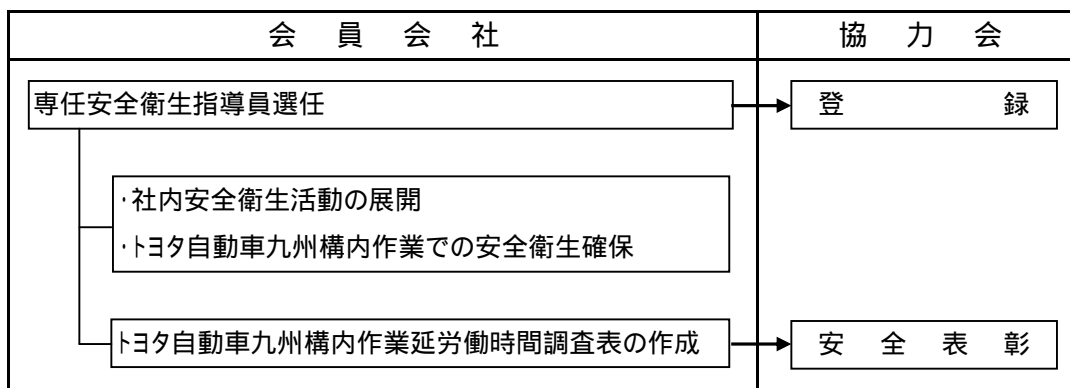
第二章 指導に関するルール

1. 専任安全衛生指導員制度

(1) 目的

会員会社は専任安全衛生指導員を選任し、「仕入先トヨタ九州構内作業要領」に基づく自社の安全衛生管理活動のレベルアップに努めるとともに、「災害ゼロから危険ゼロ」を達成することを目的とする。

(2) 運営体系



(3) 選任・登録

全ての会員会社は専任安全衛生指導員を選任し、協力会へ登録する。

(4) 選任基準

- 1) 行政当局、トヨタ自動車九州(株)及び協力会からの要望・指示事項を自社内及び関係協力会社へ展開し、安全衛生活動を推進する知識、能力、権限を有する者
- 2) 下記の資格を有する者が望ましい
工事責任者・作業責任者教育修了者
工事責任者・作業責任者専門講師養成講座修了者

(5) 責 務

- 1) 会員各社トップと工事責任者・作業責任者との間に位置し、行政当局、トヨタ自動車九州(株)及び協力会からの要望・指示事項を正しく理解し、社内展開すると共に関係協力会社への指導も積極的に実施し、安全衛生活動を推進する。
- 2) 自社の「トヨタ自動車九州構内作業延労働時間調査表」を、月別に集計し年3回(3～6月・7～10月・11～2月)協力会に報告する。(帳 - 4 参照)

2. 電動工具点検制度

(1) 点検実施

元請(元方)会社が責任を持って6ヶ月毎に「電動工具・電気使用機器点検対象表」及び「電動工具・電気使用機器点検マニュアル」に基づき、使用電動工具・電気使用機器の絶縁抵抗測定(1M 以上合格)及び、外観点検(目視)を行い、合格したものに点検シールを貼付する。(プラグは3Pであること。但し、二重絶縁工具は除く。)

又、トヨタ九州構内へ持込む前に、その都度外観点検を行い、不良品や違反の電動工具は持込まない。

(細部要領は感電防止テキスト参照)

電動工具・電気使用機器 点検対象表

区分	作業の種類	工 器 具 名 称	絶縁抵抗測定	プラグ 3 P	機能外 観確認	シール 貼付け
電 動 工 具	1	切 削	電気カンナ			
	2	切 断	電気丸鋸・カッター・切断機			
			バンドソー・チェーンソー			
			ジグソー・レシプロソー・ニブラ			
			シェーパーソー・シャー			
			プラズマ切断機			
	3	溝切り	電気溝切・電気丸鋸・ルーター・トリマー			
	4	面取り 彫 刻	ルーター・トリマー・電気カンナ			
			電動面取りカッター			
	5	穴明け	電気ドリル・ダイアコアドリル			
			マグネットボール盤・タッパー			
			ハンマードリル(電動ハンマー)			
			パンチャー			
	6	締め付け	スクリュードライバー			
			インパクトレンチ・シャーレンチ			
7	破 碎 ハツリ	電動ハンマー・電動ケレン				
		電動タガネ・電気チッパー				
8	研削・研磨 つや出し	電動グラインダー・電気サンダー				
		電動バフ				
9	釘・鋸打ち	電気タッカー・電動鋸打機				
10	リベット打	電気リベッター				
11	折り曲げ	電動ベンダー				
12	ネジ切り	パイプネジ切機・ボルトネジ切機				
13	混 練	攪拌機・混練機				
14	コンクリートならし ・打込	電動コテ・電動バイブレーター				
15	上記の工具類のうち二重絶縁構造のもの		/	2 P		
電 気 使 用 機 器	16	仮設配線	コードリール(漏電遮断器の機能点検含む)			
	17	溶 接	アーク溶接機(自動電撃防止装置の機能点検含む)			
	18	圧縮機械	電動エアコンプレッサー・電動油圧発生機			
	19	水の揚排水	電動水中ポンプ			
	20	その他 1	エンジンウェルダ―・エンジン発電機・掃除機(湿式)			
			・ポリシャー等			
21	その他 2	扇風機・掃除機(乾式)等の一般家庭用電気機器類				
		投光器・ホットマーカー・半田ゴテ・充電式工具用充電器・				
		遠赤ヒーターなど一般に電気を使用する機器類				

- 注1: 使用時は必ずコードリール(漏電遮断器付)を経由して使用下さい。
- 注2: 充電式工具(充電式ドリル・充電式ドライバー等)は当該管理対象外です。
- 注3: 絶縁抵抗値は1M 以上(絶縁抵抗計の電圧は500V使用)です。
- 注4: 機能確認はコード・プラグ・異音等を確認して下さい。
- 注5: 印の項目は義務づけとし、6ヵ月毎に実施して下さい。
- 注6: 列記した機器以外についても上記に準じて点検の要否を判断して対応して下さい。

電動工具・電気使用機器 点検マニュアル

区 分	点検箇所	点検ポイント	内 容	
電 動 工 具	機器本体	破損・損傷・汚れ等	1 外観に著しい破損、損傷はないか (取手・ハンドル等)	
			2 充電部が露出していないか	
			3 ホコリ、切り粉、油などが付着していないか (特に内部)	
			4 内部に異物(ビス、切り屑など)が入りこんでいないか	
			5 振った時に異音がしないか	
			6 ケース締付けのビスなどがゆるんでいないか	
	コード	コードの種類	7 平行ビニール線は使用していないか(3芯のキャプ タイケーブルを使用する)	
			8 被覆の破れ、キズはないか	
			9 芯線が露出していないか	
			10 テーピングがほどけていないか	
			11 コードがブヨブヨしていないか	
	プラグ	構 造	12 ・100V仕様：3P(接地極付)か ・3相200V仕様：4P(接地極付)か	
			13 プラグの破損はないか	
		破損・損傷等	14 ピンの折れ、曲がり、スパーク跡はないか	
			15 バンドの締付け不良(コードの拔出し)はないか	
	保護カバー	カバーの取付け	16 サンダー、グラインダー、丸鋸などには正常な カバーがあるか	
使 用 機 器	コード リール	本 体	17 漏電遮断器が付いているか又、その作動は正常か	
			18 プラグは3P(接地極付)か	
	コード	破損・損傷・名札等	19 ・プラグ部に社名表示札はあるか ・被覆の破れ・キズはないか ・芯線が露出していないか	
			20 電撃防止装置はあるか又、その作動は正常か	
			21 本体に確実にアースされているか	
	アーキ 溶接機	機器本体	構 造	22 ・被覆の破れ・キズはないか ・芯線が露出していないか ・社名表示札はあるか
				23 ホルダーの破損、損傷はないか
		ケーブル	破損・損傷・名札等	24 シールは有効期限内のものが貼付けされているか (1月～6月は青ラベル・7月～12月は橙ラベル)
ホルダー	破損・損傷等	25 点検周期6ヶ月(6月・12月)		
全 般	点検済シール	シールの取付け	26 感電防止の観点で上記に準じて点検する	
	6ヶ月点検	絶縁抵抗・アース導通		
	そ の 他			

第三章 事務手続

1. 提出書類について

(1) 入・退会手続

- 1) 入会申込書 (帳 - 1 参照)
- 2) 退会届 (帳 - 2 参照)

(2) 報告事項

- 1) 会員名簿報告書・記載事項変更届 (帳 - 3 参照)
会社名・所在地・トヨタ安全衛生最高責任者・専任安全衛生指導員・連絡担当者・
主な業務内容等を協力会へ報告する。
また、会員名簿の記載事項について変更があった場合も、遅滞なく協力会へ提出
する。
- 2) トヨタ自動車九州構内作業労働時間調査表 (帳 - 4 参照)
トヨタ自動車九州構内における延労働時間数の実績を年3回(4ヶ月毎)に協力会
へ報告する。
(毎年 3月～6月・7月～10月・11月～2月)

2. 申請書類関係について

(1) 安全教育関係

- 1) 工事責任者証交付申請書 (帳 - 5 参照)
講習会申込時に、申請書に必要事項を記入の上、資格証の写し(感電・高所・作責等)と写真及び受講料を添えて協力会へ提出する。
- 2) (新規)作業責任者証交付申請書 (帳 - 6 参照)
講習会申込時に、申請書に必要事項を記入の上、資格証の写し(感電・高所等)と写真及び受講料を添えて協力会へ提出する。
- 3) (更新)作業責任者証交付申請書 (帳 - 7 参照)
講習会申込時に、申請書に必要事項を記入の上、資格証の写し(感電・高所・作責等)と写真及び受講料を添えて協力会へ提出する。
- 4) 特別教育選考結果報告書 (高所・感電・有機・振動・粉じん) (帳 - 8 参照)
講習会申込時に、申請書に必要事項を記入の上、写真及び受講料を添えて協力会へ提出する。但し、既に取得済資格がある場合は、資格証の写しを添付する事。
(例)高所申込時、既に感電取得済みの場合は、資格証の写しを添付する。
- 5) 取得済資格申請書 (帳 - 9 参照)
 - 1.工責・作責・感電・高所の講習会時に「取得済特別教育8種」及び「全豊田での取得済資格」の追加記載をしたい場合は、申請書に必要事項を記入の上、資格証の写しを講習会申込時に合わせて提出する。
取得済特別教育8種の教育名(会社および公的機関の証明があるもの)
酸欠 低圧電気 無線クレーン 有機溶剤 振動工具 粉じん 砥石取替
アーク溶接
 - 2.旧修了証(工責・作責・感電・高所)を新修了証(1枚化)にしたい場合、申請書に必要事項を記入の上、資格証の写しと写真及び交付手数料を協力会へ提出する。
- 6) 修了証再交付申請書 (帳 - 10 参照)
紛失等により、工事責任者・作業責任者・特別教育(感電・高所)の再交付時、申請書に必要事項を記入の上、写真及び再交付手数料を添えて協力会へ提出する。

(2)その他

- 1) ビデオ・DVD等借用申込書 (帳 - 11 参照)
各種教育用ビデオ及び機器等を借りる場合、事前に予約状況を確認後、必要事項を記入の上、協力会へ提出する。

3. 災害・違反発生時の対応書類について

(1) 災害・事故発生時の対応書類

- 1) 仕入先関係**事故**報告書
災害・事故(ヒヤリも含む)が生じた場合は、仕入先トヨタ九州構内作業要領(P 33参照)に基づき、客先に原則3日以内に報告し、その後、写しを協力会へ提出する。
その他、客先より報告指示があった場合は、客先へ報告する。
災害・事項の第一報は、協力会発行の緊急連絡網により報告。

(2) パトロール違反時の対応書類

- 1) 改善通知書 (帳 - 12 参照)
協力会パトロール等で指摘を受けた会員会社は、改善通知書を15日以内に協力会(指導分科会長)へ提出する。
- 2) 再発防止対策書 (帳 - 13 参照)
協力会パトロール等で指摘を受けた会員会社は、再発防止対策書を遅滞無く協力会(指導分科会長)へ提出する。

4. 協力会各種帳票及び教材等について

各種帳票及び教材等は、次からの一覧表に示します。

(1) 帳票及び参考資料一覧

分類	帳 票 名	頁
入・退会	入会申込書	帳 - 1
	退会届	帳 - 2
報告書類	会員名簿報告書・記載事項変更届	帳 - 3
	トヨタ自動車九州構内作業労働時間調査表	帳 - 4-1~3
安全教育 関係	工事責任者証交付申請書	帳 - 5
	(新規)作業責任者証交付申請書	帳 - 6
	(更新)作業責任者証交付申請書	帳 - 7
	特別教育選考結果報告書	帳 - 8
	取得済資格申請書	帳 - 9
	修了証再交付申請書	帳 - 10
	ビデオ・DVD等借用申込書	帳 - 11
異常時対応	改善通知書	帳 - 12
	再発防止対策書	帳 - 13
	工事管理板内工事看板	参考 - 1-1
	施工体制表(請負関係図)	参考 - 1-2~4
	作業指示書・KYM実施記録	参考 - 2
	作業者名簿・資格一覧表	参考 - 3
	リスクアセスメント記録表・前提条件表	参考 - 4-1~2

(2)テキスト類一覧表

	テキスト名	発行					最新発行日
		全豊田	トヨタ	トヨタ 安協	トヨタ 九州	トヨタ九州 安協	
1	仕入先トヨタ九州構内作業要領						H24.12
2	点検チェックリスト						H23.04
3	安全衛生指導マニュアル						H21.10
4	労災かくし防止マニュアル						H21.05
5	工事責任者テキスト						H22.03
6	工事・作業のRA リスクアセスメントの進め方						H21.02
7	全豊田外来工事 作業責任者テキスト						H23.03
8	全豊田外来工事 作業責任者更新教育テキスト						H24.10
9	感電防止テキスト						H20.12
10	高所における作業テキスト						H22.02
11	有機溶剤作業者テキスト						H23.04
12	振動工具取扱作業者テキスト						H23.01
13	粉じん作業者テキスト						H16.03
14	トヨタ自動車構内作業 安全衛生手帳						H21.12

テキストの見直し等に関する編集委員会は、トヨタ自動車安全衛生協力会に設ける。

(発行凡例)

全豊田	全豊田安全衛生研究会
トヨタ	トヨタ自動車株式会社
トヨタ安協	トヨタ自動車安全衛生協力会
トヨタ九州	トヨタ自動車九州株式会社
トヨタ九州安協	トヨタ自動車九州安全衛生協力会

(3) 斡旋物一覧表

	品名	詳細
1	工事管理板	6窓仕様
2	5段階TBM活用看板	一式(両面刷り2枚と金具)
3	電動工具・機器点検シール	6月……(1月～6月迄)
4	電動工具・機器点検シール	12月……(7月～12月迄)
5	かけ札	スイッチ入れるな
6	検電器	
7	防じんマスク	650T (排気弁なし)
8	腕章	作業責任者
9	腕章	パトロール
10	腕章	工事責任者
11	腕章	火気監視人
12	垂れ幕	高所作業中
13	垂れ幕	火気使用中
14	防じんメガネ	715T
15	防じんメガネ	717T (メガネの上から可)
16	汗取りパット	
17	変換プラグ	
	ロックアウト器具	申請用紙 メーカーへ直接発注

斡旋物の価格については、協力会にお問い合わせください。

入 会 申 込 書

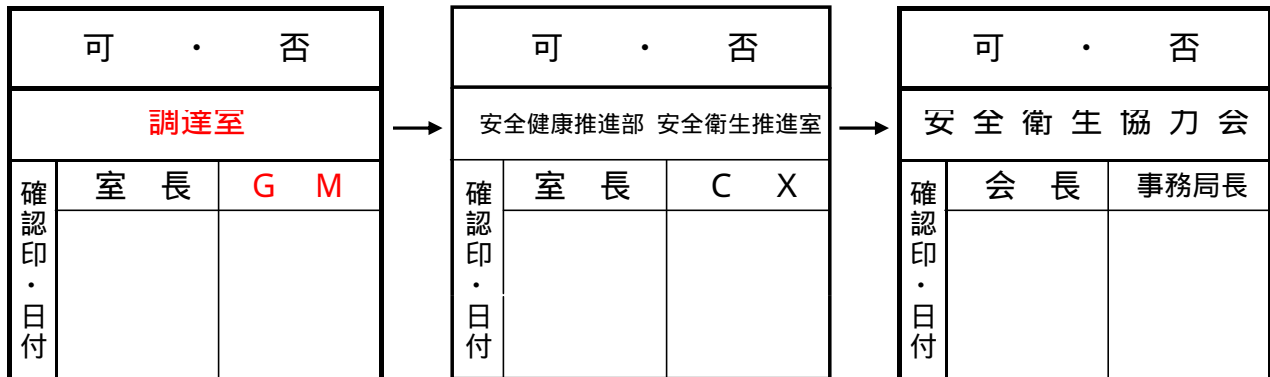
トヨタ自動車九州
安全衛生協力会 御中

貴社名

印

住 所	(〒 -)
貴社ご担当部署	
電 話 番 号	
F A X 番 号	
安衛最高責任者	(役職) (氏名)
専任安衛指導員	(役職) (氏名)
連 絡 担 当 者	(役職) (氏名)
連絡担当者E-mail	*名簿には記載いたしません
従 業 員 数	名
業 務 内 容	

安衛最高責任者とは、トヨタ構内で作業をする場合の安全衛生に関して責任を負う方
 専任安衛指導員とは、トヨタ構内作業に関し安全衛生に関する業務を指導される方
 連 絡 担 当 者 とは、協力会事務局と連絡をとられる方



帳票ルート： 仕入先

調達室

安全衛生推進室

協力会（保管）

平成 年 月 日

トヨタ自動車九州
安全衛生協力会 御中

退 会 届

事業所名	
所在地	
代表者名	印
貴社が一次以降の 仕入先関係でしたら 元請企業名、所在地 を記入してください。	元請 _____
<p>いままでのトヨタ自動車九州(株)から受注された主な仕事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車九州(株)と関係のあった期間 自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日 ・トヨタ自動車九州(株)の主として、どの部署からの受注でしたでしょうか。 _____ 部 _____ 課 _____ 係 ・主としてどのような仕事でしたか。 ・退会の理由 	

帳票ルート： 仕入先 協力会（保管）

トヨタ自動車九州安全衛生協力会 殿

会社名
安全衛生
最高責任者 印

会員名簿報告書・記載事項変更届

記載事項変更の場合は、変更事項のみ記入下さい。

1. 会員名簿

フリガナ		
会社名		
住所	(〒 -)	
電話番号		
FAX番号		
従業員数	名	
フリガナ		
安全衛生最高責任者	(役職)	(氏名)
フリガナ		
専任安全衛生指導員	(役職)	(氏名)
フリガナ		
連絡担当者	(役職)	(氏名)
連絡担当者 E-mail	*名簿には記載いたしません	

2. 貴社の業務内容を主要業務順に3件までご記入下さい。

1	
2	
3	

【返送先】 FAX番号 (0949) 33 - 3658

平成 年 月 日

会社名 _____

代表者名 _____ 印

連絡担当者 _____

トヨタ自動車九州(株)構内工事労働時間調査表

1 . 目的

会員会社の無災害努力表彰の対象時間として使用する。
協力会の安全衛生成績の評価する時間として使用する。

2 . 提出期限 ... 平成 年 7月 15日

3 . 提出先 ... トヨタ自動車九州安全衛生協力会
FAX番号 (0949) - 33 - 3658

4 . 記入方法

工事日数 ... TMKより工事を発注され工事通知書届を提出して行った工事(作業)日数

1日に複数名が作業しても1日とする

1日のうち労働時間の大小は問わない 労働時間が3時間であっても1日として計上
尚、工事がなかった場合でも、0と記入の上 提出お願いします。

延人員 ... その期間中に作業を行った延人数

労働時間調査表

調査期間	3 月	4 月	5 月	6 月	計
工事日数	日	日	日	日	日
延人員	人	人	人	人	人

平成 年 月 日

会社名 _____

代表者名 _____ 印

連絡担当者 _____

トヨタ自動車九州(株)構内工事労働時間調査表

1. 目的

会員会社の無災害努力表彰の対象時間として使用する。
協力会の安全衛生成績の評価する時間として使用する。

2. 提出期限 ... 平成 年 11月 15日

3. 提出先 ... トヨタ自動車九州安全衛生協力会
FAX番号 (0949) - 33 - 3658

4. 記入方法

工事日数 ... TMKより工事を発注され工事通知書届を提出して行った工事(作業)日数

1日に複数名が作業しても1日とする

〔 1日のうち労働時間の大小は問わない 労働時間が3時間であっても1日として計上
尚、工事がなかった場合でも、0と記入の上 提出お願いします。 〕

延人員 ... その期間中に作業を行った延人数

労働時間調査表

調査期間	7 月	8 月	9 月	10 月	計
工事日数	日	日	日	日	日
延人員	人	人	人	人	人

平成 年 月 日

会社名 _____

代表者名 _____ 印

連絡担当者 _____

トヨタ自動車九州(株)構内工事労働時間調査表

1. 目的

会員会社の無災害努力表彰の対象時間として使用する。
協力会の安全衛生成績の評価する時間として使用する。

2. 提出期限 ... 平成 年 3月 15日

3. 提出先 ... トヨタ自動車九州安全衛生協力会
FAX番号 (0949) - 33 - 3658

4. 記入方法

工事日数 ... TMKより工事を発注され工事通知書届を提出して行った工事(作業)日数

1日に複数名が作業しても1日とする

1日のうち労働時間の大小は問わない 労働時間が3時間であっても1日として計上
尚、工事がなかった場合でも、0と記入の上 提出お願いします。

延人員 ... その期間中に作業を行った延人数

労働時間調査表

調査期間	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	計
工事日数	日	日	日	日	日
延人員	人	人	人	人	人

修了証発行機関:

申請日:

工事責任者証交付申請書

修了証発行日

全豊田記号		
A: (株)豊田自動織機	H: トヨタ紡織(株)	L: ダイハツ工業(株)
C: 愛知製鋼(株)	N: (株)豊田中央研究所	LK: ダイハツ九州(株)
D: (株)ジェイテクト	I: 関東自動車工業(株)	V: トヨタ自動車安全衛生協定会
E: トヨタ車体(株)	及び トヨタ自動車東日本(株)	VK: トヨタ自動車九州安全衛生協定会
M: 豊田通商(株)	J: 豊田合成(株)	VH: トヨタ自動車北海道安全衛生協定会
F: アイシン精機(株)	K: 日野自動車(株)	P: トヨタホーム(株)
G: デンソー安全衛生協議会	及び 日野自動車安全衛生協定会	

申請会社
コード:
会社名:
代表者:
講師
氏名:
番号:
教育
教育日:
教育時間:
教育場所:

(注) 1.必ず修了テストを行い、テスト結果は各社にて3年間は保存してください。 関東自動車工業(株)は2012年7月よりトヨタ自動車東日本(株)へ社名変更
2.太枠内は修了証発行機関にて記入します。
経路:申請書(申請会社記入) 発行機関に提出 修了番号記入 写し(申請会社)に返却
資格証申請書に記載された個人情報につきましては、当会(会社)が責任を持って保管し、修了証発行に係る目的以外には使用しません。

修了証	フリガナ 氏名 生年月日	コード 申請会社名 所属会社名	作業責任者 高所教育 職長番号	修了証 新体系		取得日	有効期限	感電教育	修了証 新体系		取得日
				記年	番号				旧体系	記年	
1			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
2			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
3			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
4			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
5			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
6			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
7			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
8			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
9			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
10			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
11			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
12			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			
13			作業責任者 職長番号	作				感電 低圧	感 低		
			高所	高				公的資格			

修了証発行機関:

申請日:

1:[新規] 作業責任者証交付申請書

修了証発行日	有効期限
<input type="text"/>	<input type="text"/>

申請会社
 コード:
 会社名:
 代表者:

教育
 教育日: (開始)
 ~ (終了)
 教育時間:
 教育場所:

講師
 作責講師 氏名: 番号
 ・高所・感電 取得済の場合は RST
 高所・感電講師入力不要 CFT
 高所講師 氏名: 番号
 感電講師 氏名: 番号

(注) 1.必ず修了テストを行い、テスト結果は各社にて3年間は保存してください。
 2.太枠内は修了証発行機関にて記入します。
 経路:申請書(申請会社記入) 発行機関に提出 修了番号記入 写し(申請会社)に返却

資格証申請書に記載された個人情報につきましては、当会(会社)が責任を持って保管し、修了証発行に係る目的以外には使用しません。

・高所・感電 取得済の場合は入力不要

	修了証	フリガナ 氏名 生年月日	コード 申請会社名	所属会社名	作業責任者		高所		感電	
					点数 合否	職長認定番号	点数 合否	修了証	点数 合否	修了証
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

修了証発行機関: _____

2: [更新] 作業責任者証交付申請書

修了証発行日	有効期限

申請会社 _____ 申請日: _____

コード: _____
 会社名: _____
 代表者: _____

教育
 教育日 : _____ (開始)
 ~ _____ (終了)
 教育時間: _____
 教育場所: _____

講師
 作責講師 氏名: _____ 番号 _____
 RST _____
 CFT _____

(注) 1.必ず修了テストを行い、テスト結果は各社にて3年間は保存してください。
 2.太枠内は修了証発行機関にて記入します。
 経路:申請書(申請会社記入) 発行機関に提出 修了番号記入 写し(申請会社)に返却

資格証申請書に記載された個人情報につきましては、当会(会社)が責任を持って保管し、修了証発行に係る目的以外には使用しません。

	修了証	フリガナ	コード	所属会社名	作業責任者	
	旧修了証	氏名 生年月日	申請会社名		点数 合否	職長認定番号
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

修了証発行機関:

申請日:

特別教育選考結果報告書

教育名

上記該当教育を選択してください。

修了証発行日

申請会社
コード:
会社名:
代表者:
講師
氏名:
番号:
教育
教育日:
教育時間:
教育場所:

- (注) 1.必ず修了テストを行い、テスト結果は各社にて3年間は保存してください。
2.太枠内は修了証発行機関にて記入します。
経路:申請書(申請会社記入) 発行機関に提出 修了番号記入 写し(申請会社)に返却

資格証申請書に記載された個人情報につきましては、当会(会社)が責任を持って保管し、修了証発行に係る目的以外には使用しません。

No	修了証No	フリガナ 氏名	生年月日	コード	申請会社名	所属会社名	点数	合否
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

修了証発行機関:

申請日:

取得済資格申請書

- 全豊田記号
 A: (株)豊田自動織機 H: トヨタ紡織(株) L: ダイハツ工業(株)
 C: 愛知製鋼(株) N: (株)豊田中央研究所 LK: ダイハツ九州(株)
 D: (株)ジェイテクト I: 関東自動車工業(株) V: トヨタ自動車安全衛生協力会
 E: トヨタ車体(株) 及び トヨタ自動車東日本(株) VK: トヨタ自動車九州安全衛生協力会
 M: 豊田通商(株) J: 豊田合成(株) VH: トヨタ自動車北海道安全衛生協力会
 F: アイシン精機(株) K: 日野自動車(株) P: トヨタホーム(株)
 G: デンソー安全衛生協議会 及び 日野自動車安全衛生協力会

申請会社
 コード:
 会社名:
 代表者:

処理日
<input type="text"/>

関東自動車工業(株)は2012年7月よりトヨタ自動車東日本(株)へ社名変更
 資格証申請書に記載された個人情報につきましては、当会(会社)が責任を持って保管し、修了証発行に係る目的以外には使用しません。

作業責任者更新申請には、旧作業責任者修了証No・取得日・職長番号の入力が必須

申請者情報	工責/作責	修了証		取得日	有効期限	特別教育	修了証		取得日
		新体系 記年 番号	旧体系				新体系 記年 番号	旧体系	
1 フリガナ 氏名 生年月日 申請会社 所属会社	工事責任者	工				振動工具	振		
	作業責任者	作				有機溶剤	有		
	職長番号					自由と石	と		
	高所	高				アーク	ア		
	感電	感				酸欠	酸		
2 フリガナ 氏名 生年月日 申請会社 所属会社	低圧	低				無線クレーン	無		
	公的資格					粉じん	粉		
	工事責任者	工				振動工具	振		
	作業責任者	作				有機溶剤	有		
	職長番号					自由と石	と		
3 フリガナ 氏名 生年月日 申請会社 所属会社	高所	高				アーク	ア		
	感電	感				酸欠	酸		
	低圧	低				無線クレーン	無		
	公的資格					粉じん	粉		
	工事責任者	工				振動工具	振		
4 フリガナ 氏名 生年月日 申請会社 所属会社	作業責任者	作				有機溶剤	有		
	職長番号					自由と石	と		
	高所	高				アーク	ア		
	感電	感				酸欠	酸		
	低圧	低				無線クレーン	無		
5 フリガナ 氏名 生年月日 申請会社 所属会社	公的資格					粉じん	粉		
	工事責任者	工				振動工具	振		
	作業責任者	作				有機溶剤	有		
	職長番号					自由と石	と		
	高所	高				アーク	ア		
6 フリガナ 氏名 生年月日 申請会社 所属会社	感電	感				酸欠	酸		
	低圧	低				無線クレーン	無		
	公的資格					粉じん	粉		

トヨタ自動車九州安全衛生協力会 御中

会員会社名 _____
 代表者名 _____ 印
 連絡担当者 _____
 T E L _____

《修了証再交付申請》

理由 ()

- ・写真1枚(横2.5cm×縦3cm)と手数料を添えて申請してください。
- ・修了証は一枚化になりましたので、既存の修了証も同時に申請してください。
- ・受領の際は、お持ちの修了証を提出してください。

氏名	
氏名カナ	
生年月日(西暦)	
自社名	

教育名	修了証番号	交付年月日(西暦)
作業責任者		
職長(必須)		

《修了証訂正依頼》

	教育名	氏名	氏名カナ	生年月日(西暦)	修了証番号	交付年月日(西暦)
誤						
正						
誤						
正						

注) 会員会社の代表者印のない場合は、再交付いたしません。

トヨタ自動車九州安全衛生協力会 殿

FAX (0949) 33-3658

ビデオ・DVD等 借用申込書

事前に予約状況を確認のうえ、お申込みください

申込年月日	平成 年 月 日
貴社名	
ご担当者名	() -
借用年月日	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)
使用物品	(別紙一覧表の でご記入ください)

事務局確認印	
日付	印

トヨタ関係安全衛生最高責任者殿

平成 年 月 日
トヨタ自動車九州安全衛生協力会
指導分科会会長

T M K 構内作業ルール違反
改善通知書

貴社の工事において下記不具合が有りましたので速やかに改善いただき、本「改善通知書」と別紙の「再発防止対策書」の提出をお願いいたします。
尚、改善通知書到着後、15日以内に「トヨタ自動車九州安全衛生協力会指導分科会会長」宛に便送又は F A X にてご返送ください。

安全衛生協力会 (F A X) 0949-33-3658 (T E L) 0949-33-3656

- 記 -

指摘月日：平成 年 月 日 時頃

場 所 : 工場 プラント 工事名 :

元請(元方)会社名 : 殿 工事責任者名 殿

施工会社名 : 殿 作業責任者名 殿

【不具合内容】 警告(A) : 5点 警告(B) : 3点 注意(C) : 1点

点検チェックリスト			不具合内容	判定			点数
項目	作業分類	安バト警告		A	B	C	
				今回の点数			
				本年度累計点数			

〔点検者コメント〕

〔参考〕

警告【A】・【B】・注意【C】の累計が20点以上になると、安全衛生最高責任者、工事責任者
作業責任者の方は、指導分科会で実施する再発防止勉強会へ出席していただきます。

〔最高責任者コメント〕	〔会社名〕
	〔最高責任者名〕
	印

* 工事に入る前に今一度、安全衛生協力会発行の「点検チェックリスト」を確認してください。

(帳票のルート) 協力会 : 指導分科会 元請 (元方、施工会社) … 社内指導 協力会 : 指導分科会

トヨタ自動車九州安全衛生協力会
指導分科会会長 殿

平成 年 月 日

会社名 _____

最高責任者 _____ 印

役 職 _____

T E L _____

F A X _____

T M K 構内作業ルール違反 再発防止対策書

1. 工事の概要

指摘を受けた日 : 平成 年 月 日 ()

場 所 : 工場 プラント

工事件名 : _____

工事責任者 : _____

施工会社 : _____

作業責任者 : _____

(作業責任者証番号 _____)

2. 指摘内容

3. 問題点

4. 実施した再発防止対策

い つ : _____

ど こ で : _____

誰が(会社名、役職、氏名) : _____

誰に対して(会社名、役職、氏名) : _____

実施した防止対策

5. 最高責任者見解

以 上

工 事 看 板

工事名																											
作業管理 部署名	担当者		様																								
	TEL																										
期 間	年 月 日() ~ 年 月 日()																										
元 請 会社名	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">工 事 責任者</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">工責証NO</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">携帯電話</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">()</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">()</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">会社名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">作 業 責任者</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">作責証NO</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">携帯電話</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">()</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">()</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">会社名</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			工 事 責任者				工責証NO	携帯電話	()	()		会社名			作 業 責任者				作責証NO	携帯電話	()	()		会社名		
工 事 責任者																											
	工責証NO	携帯電話																									
()	()																										
会社名																											
作 業 責任者																											
	作責証NO	携帯電話																									
()	()																										
会社名																											
連 絡 先	(担当者) (TEL:)																										
元 方 会社名	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">作 業 責任者</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">作責証NO</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">携帯電話</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">()</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">()</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">会社名</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			作 業 責任者				作責証NO	携帯電話	()	()		会社名														
作 業 責任者																											
	作責証NO	携帯電話																									
()	()																										
会社名																											
連 絡 先	(担当者) (TEL:)																										
協 力 会社名 (施工会社)	(1次)																										
連 絡 先	(担当者) (TEL:)																										

1次以降の協力会社が複数ある場合は
施工体制表(請負関連図)に記入掲示すること

* 施工体制表（請負関係図）

工事名	
工事期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

元請 会社名	
元方 会社名	

1 次 会社名	
------------	--

2 次 会社名	
------------	--

3 次 会社名	
------------	--

4 次 会社名	
------------	--

下請けを使用場合は、1次、2次...5次と記入
1次や2次が複数になる場合は、様式（2- ）
様式（2- ）を活用してください

工 事 責任者	工責証NO ()
会社名	
作 業 責任者	作責証NO ()
会社名	
作 業 責任者	作責証NO ()
会社名	

* 施工体制表 (請負関係図)

工事名	
工事期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

(商社の場合)

元請 会社名	
元方 会社名	

1次
会社名

--

2次
会社名

--

--

3次
会社名

--

--

4次
会社名

--

--

工事 責任者	工責証NO ()
会社名	
作業 責任者	作責証NO ()
会社名	
作業 責任者	作責証NO ()
会社名	

1次会社以下でそれぞれ下請けの協力会社を使用する場合は2次、3次、4次、5次と記入すること

1次会社が複数ある場合は様式(2 -) またはアレンジして掲示すること

* 施工体制表 (請負関係図)

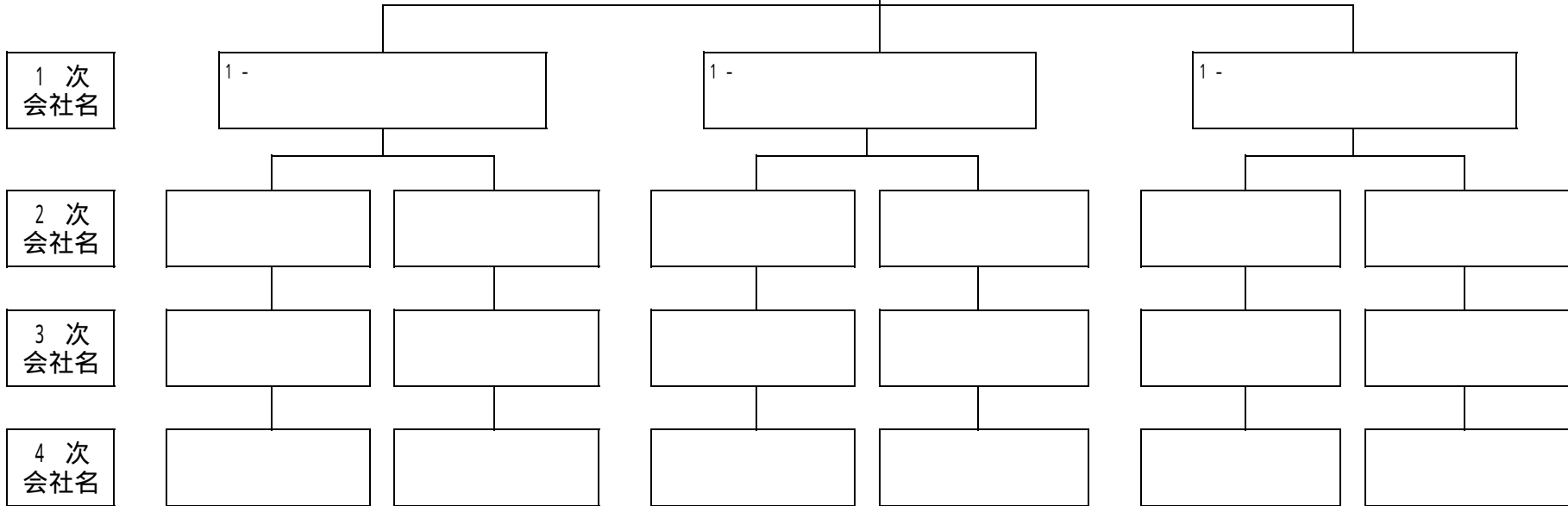
(1次会社が複数の場合)

工事名	
工事期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

工事責任者	工責証NO ()
会社名	
作業責任者	作責証NO ()
会社名	

元請会社名	
元方会社名	

作業責任者	作責証NO ()
会社名	
作業責任者	作責証NO ()
会社名	



1次会社が2社以上の場合は 1 - 、1 - 、1 - 、1 - 、1 - と記入、合せて作業責任者も記入する

1次会社以下で下請けを使用する場合は、2次、3次、4次……と記入する

作業指示書・KYM実施記録

工事日	平成 年 月 日	管理番号		元請・元方会社	
工事場所		管理部署		施工会社	
工事名		担当者		作業責任者	

作成日 平成 年 月 日		
安全担当者	工事責任者	作業責任者

作業前日までに 工事責任者と作業責任者で作成する	ロックアウト 管理NO	氏名	貸出	返納	ロックアウト 管理NO	氏名	貸出	返納	ロックアウト 管理NO	氏名	貸出	返納	ロックアウト 管理NO	氏名	貸出	返納	ロックアウト 管理NO	氏名	貸出	返納	

	NO	作業内容(手順)	計 画 時 間							作業者名	危 険 要 因(○印)						リスクアセスメントを織り込んだ急所・ポイント 急所・ポイントは具体的に(～措置をする等の表現で)				
			8	10	12	14	16	18	20		22	墜転落	感電	挟まれ	酸欠	火災		その他			
			作 業 指 示	1	作業指示、KYミーティング																
	2																				
	3																				
	4																				
	5																				
	6																				
	7																				
	8																				
	9																				
	10																				
	11																				
	12																				

**作業当日作業責任者が実施
作業指示後、全員で現場を見てKYMを行う(即時KYM、4ラウンド法)**

KYM	危険のポイント(～なので～する)重点をしぼる 印	印に対して対策(私達はこうする)	健康・KYM確認了承チェック フルネームで各自でサイン	パトロール者、工事責任者、作業責任者記入欄 (作業配慮事項・パトロール等のコメントetc)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	【チーム行動目標】 ヨシ!!	【ワンポイント】 ヨシ!!		【帳票ルート】 作業責任者 工事責任者 管理者 ↑ 安全担当者 ←	

保管期間 : 6ヶ月

作業者名簿・資格一覧表

平成 年 月 日

工事責任者 _____ 印

作業責任者 _____ 印

<会社名>

元請: _____

元方: _____ 1次: _____ 2次: _____ 3次: _____ 4次: _____ 5次: _____

感電防止資格未取得者はTMK構内では作業できません(低圧電気、電気工事士等 上位資格取得者はOK)

高所作業 ... 70歳以上は禁止(平成21年4月1日~)

資格区分について... 特:特別教育 技:技能講習 免:免許 主:作業主任者技能講習

作業者名簿			出勤日								資格一覧																					
			会社名	氏名	生年月日, 年齢 及び血液型	/	/	/	/	/	/	/	工 事 責 任 者	作 業 責 任 者	高 所 作 業	感 電 防 止	低 圧 電 気	ア ーク 溶 接	ガ ス 溶 接	フ ォ イ ク リ フ ト	高 所 作 車	ク レ ー ン	移 動 式 ク レ ー ン	玉 掛	有 機 溶 剤	酸 欠 危 険						
例	福岡工業(株)	宮田太郎	S33.4.5生 年齢 50才 血液型 A型													特	特	技	技	特	技	特	技	免	技	主	主	特				
1			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
2			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
3			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
4			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
5			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
6			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
7			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
8			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
9			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													
10			. . . 生 年齢 才 血液型 型																													

作業工程のリスクアセスメント記録表

管理番号： _____
 工事件名： _____

作成日： _____
 会社名： _____

安全管理者	工事責任者	作業責任者

作業工程	どのような危険・有害要因があるか	リスク評価				低減対策	リスク再評価					
		災害程度	可能性	評価点	ランク		災害程度	見種可能性	対策	評価点	ランク	
1												

前提条件表

管理番号	工事場所		
工事名称	工 期	仕入先名	
	作 成 日	施工業者	

安全管理者	工事責任者	作業責任者	

明確化の視点		注 意 事 項 等
作業内容	a: 準備作業	
	b: 本作業	
	c: 後始末作業	
取扱う物(材料)		
使用する機材、器具類		
人的条件	a: 人数・属性	
	b: 知識・技能	
	c: 周辺作業者	
場所・スペース的制約条件		
発注者からの提示の危険・有害情報/必須要求事項		